

～ かわさき安定フライト予算 ～

平成21年度予算は、「新行財政改革プラン」と「川崎再生フロンティアプラン・第2期実行計画」の2か年目の予算として、都市経営の視点に立ったうえで、計画事業の着実な推進と社会環境変化への的確な対応を図ることにより、市民の皆様が安心して快適な暮らしを実感できるよう、次の点を基本に編成を行いました。

行財政改革の取組を確実に反映させました。

新行財政改革プランに基づき、「効率的・効果的な行政体制の確立」や「施策・制度の再構築」等の取組を積極的に推進し、これまでの改革の成果と合わせて予算へ反映したことにより、「減債基金からの新規借入れを行わずに収支均衡を図る」という、第1次改革プランからの目標を達成するとともに、引き続きプライマリーバランスの黒字を確保しました。

また、昨年度の「道路・公園・街路樹の管理水準の引上げ」等に加えて、「私立幼稚園園児保育料等補助」のさらなる拡充や、「幹線道路の緊急渋滞対策の実施」など、改革効果の市民サービスへの還元にも努めてまいります。

計画事業の一層の実現とともに、社会環境変化への的確な対応を図ります。

『安全・安心な地域生活環境の整備』として、川崎病院における「新生児集中治療管理室」の再開や、「総合周産期母子医療センター」の整備などに取り組んでまいります。

『支え合いによる地域福祉社会づくり』として、補助制度や貸付制度の拡充による「特別養護老人ホーム」の整備や、「リハビリテーション福祉・医療センター」の再編整備、井田病院の再編整備などを推進してまいります。

『総合的な子ども支援』として、計画の前倒しによる「保育受入枠の拡大」や「妊婦健康診査の拡充」などを図ってまいります。

『環境配慮・循環型の地域社会づくり』として、低CO₂川崎ブランドの推進、太陽光発電設備や電気自動車の導入促進等、「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）」の推進などに取り組んでまいります。

『川崎の魅力を育て発信する取組』として、「音楽のまち・かわさき」の推進や、「ホームタウンスポーツの振興」など、幅広い施策を展開してまいります。

さらに、急激な経済・雇用環境の悪化に対して、市内の経済・雇用の安定化に向けて、緊急経済対策を、昨年ステップ（即時実施）ステップ（12月補正予算等）に引き続き、ステップとして切れ目なく実施し、的確に対応してまいります。

自治基本条例に基づく市民本位のまちづくりに向けた取組を、一層推進します。

市政に市民が主体的にかかわるしくみとして、パブリックコメント手続制度や住民投票制度の適切な運用に取り組むとともに、区民会議での議論等も踏まえて、地域の課題を自ら発見し解決する市民協働拠点として、区役所機能強化の一層の推進を図ってまいります。

平成21年度予算は、市民生活の安全・安心をしっかりと確保するとともに、安定した行財政運営を行っていく予算であるという意味を込めて、「かわさき安定フライト予算」としました。